

学校給食地元食材提供者との懇談会

子供たちのために新鮮な野菜を届けたい

食の安心・安全や地産地消が言われる中、今回は、去る2月26日に行なわれた「学校給食地元食材提供者と農業委員の懇談会」について紹介したいと思います。

食材の提供は、市内の小学校6校、飯山養護学校と中学校給食センターにそれぞれ次の組織と個人の方により栽培された野菜が提供されています。

秋津小学校「とんぼの会」、飯山小学校「マイスターの会」、泉台小学校「のぎくの会」、常盤小学校「ときわ給食会」、戸狩小学校「ポテトの会」、木島小学校・飯山養護学校「めぶきの会」、中学校給食センター「木内順二さん」です。

各組織により栽培されている野菜は、組織により多少の違いはあるものの飯山の伝統野菜である坂井芋、常盤ご



ぼうはもちろんですが、じゃがいも、ズッキーニ、玉ねぎ、白菜、キャベツ、大根、レタス、アスパラ、ブロッコリーなど、20品目から30品目を栽培提供しています。

皆さんからは、苦勞していることや、うれしかったこと、やりがいなどについて次のような話がありました。

野菜の納入は学校の担当の先生等からの連絡で納品しています。学校側の要望に対して、思うように納品できない

場合があつたりしますが、野菜の大きさなど、できるだけ規格を統一した物にする事や、害虫が付かない様に農薬を使用する時は回数や極力少なくし、農協の職員の方の指導を受けて安全に気を付けていますし、野菜の価格は子供たちのためにという気持ちから、スーパーなどより安く提供しています。

また、学校によって1回の納品が25円とか30円という時があり、細かな対応が必要ですが、頑張つて届けています。

各学校により方法や回数に違いがありますが、毎年交流給食会があり、担当の先生方や子供たちと地元の農業や栽培している作物について話し合いが出来たいへん有意義だと感じています。

他の地区から赴任されて来た先生からは、飯山市の学校給食はたいへんおもしろいと言つて大感激されるという話も聞きます。

これは自校方式の給食と私たちの作つた新鮮でおいしい野菜と調理に携わる方の努力

かと思いますが、とてもうれしく思います。

今後は栄養士の先生だけでなく、調理員さんとの懇談会も必要かと思ひますし、保護者の皆さんにもぜひ関心を持っていただき私たちの活動を理解していただければと考えています。

教育委員会の担当者の方からは、給食に使用する食材、ことに農産物に関しては6割以上地元産の物を使うことが目標である旨の話があり、現在中学校では地元産が58割くらいの使用であり、米については米飯給食が週4日間で「幻の米」を使用しているとのこと。

この懇談会が行われるまで私も含め農業委員会の中には地元の方が学校給食に食材を提供していることを知らなかった人もいて、皆さんのお話を聞きし感心させられました。

いずれにしても子どもたちのために地元の皆さんが真剣に取り組んでいただいている事を、子どもたちに理解され

あぜ道だより



秋津地区農業委員 石澤 與一郎

蓮たんぼの米作り

去年私は地区区長を担当しました。冬季は大雪に見舞われ里山の木々が多数倒れたり折れたりしました。蓮たんぼへ水を流す農業用水路は山脚を通っています。倒木・落石が用水路を塞ぎ、水不足や土砂崩れが発生するため春先に除去を行います。例年の数倍の作業量でした。合わせて機能点検を行い今後の整備、補修の資とします。また、夏場は8月の猛暑時に東信、北信地域は雨が降らず、さす

がの大河千曲川を始め、宮沢川・牛首沢・中ノ沢・深沢尻等が水不足になり蓮たんぼ50町歩が危機に陥りました。このため蓮大区長、用水委員長、地元市会議員を始め市



深沢尻及び溜池の貯水を活用することになりました。四ヶ郷用水(蓮堰)は穴田一替佐一笠倉一奥手山一蓮たんぼと流れ込みますが、元禄年間飯山城主松平遠江守は家臣野田喜

役所農林課等に御尽力をいただき、秋には無事収穫することができました。

日本人は古代から治水事業や新田開発等により水田の面積を拡張し耕作量を増やしてきましたが、稲作技術や品種改良は明治・大正期まで進歩が見られませんでした。

蓮たんぼは千曲川をはさんだ東岸は柳沢遺跡です。古代有力集権勢力の支配地域であったことは明らかです。当時の千曲川は延徳一江戸一壁田一蓮一飯山を流れ、夜間瀬川は中野方向へ下り合流して

いました。その後現在のようになし上今井一替佐一蓮と川筋を変えました。蓮たんぼは元来千曲川の水を直接引き込んで灌漑用水としていました。飯山の歴代領主は千曲川の治水

対処の治水事業に注力してきました。治水のため堤防が作られたため蓮たんぼの用水は別に求める必要が生じました。宮沢川・牛首沢・中ノ沢・

深沢尻及び溜池の貯水を活用することになりました。四ヶ郷用水(蓮堰)は穴田一替佐一笠倉一奥手山一蓮たんぼと流れ込みますが、元禄年間飯山城主松平遠江守は家臣野田喜

農業者年金受給者のみなさまへ

●現況届は忘れずに提出を!

現況届の用紙は、5月末頃に基金から直接ご本人あてに送付されます。受給者本人が、署名・記入して6月30日までに農業委員会に提出してください。現況届の提出を忘れると、11月の支払から年金の支払いが差し止められますのでご注意ください。

●経営移譲年金・特例付加年金を受給している方は今年度から現況届の様式が変わります

支給停止事由等に該当していないことの自己チェックを記入して提出してください。

【自己チェックしていただく項目】

- ①農業を営んでいますか
- ②農業を営む法人の構成員になっていますか
- ③後継者に貸している農地等又は特定農業用施設の返還を受けたり、売却・転用・貸付け等を行いましたか
- ④農業所得の納税申告をしましたか
- ⑤経営所得安定対策等交付金を申請しましたか
- ⑥農業共済に加入しましたか

※農業経営の再開、諸名義の確認、農地の移動等により支給停止事由に該当する場合、経営移譲年金・特例付加年金が支給停止となります。

佐衛門に蓮堰を作らせました。これらの用水設備の維持、管理のために毎年大区の役員、農家は数回の土砂・倒木・草木の除去を行い機能を確保してきました。分水地点



は水番を配置して300年を経て、昭和25年千曲川の水を電力で揚水し用水路へ流すことが可能になりました。

今年記録的な小雪で夏の川の水量に不安を感じますが事前対策が重要と

思います。去年の大雪でさえ8月に揚水機場の機能が停止したことから今年はさらに深刻な状況になることが予想されます。関係者の皆さんの御活躍を期待する

とともに御苦勞に対し感謝せざるを得ません。蓮たんぼの稲作には古代から現代まで用水の維持、管理に大きな資源を必要としてきました。このことからTTPによる影響を考慮しますと抜本的対策が必要と思われ

農地利用状況調査(農地パトロール)の実施について

農業委員会では農地の確保と遊休農地化の防止を目的として、農地の利用状況調査を実施します。農地への立ち入りなどにつきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。調査の期間：平成28年7月から8月まで

あしあと 3・4月の活動記録

3月9日	農地相談
//	農業委員会役員会
20日	農産物販売促進・農業振興「食の講演会」
28日	3月農業委員会総会
4月8日	農業委員会役員会
25日	4月農業委員会総会・学習会

情報委員長 渡辺敬一

食を通じて地域を知ることや自然の恵みや勤勞の大切さなどを感じ取ってもらえたらと思います。

それぞれの組織の中には、高齢化と会員不足の所もある様ですが、無理をせず仲間と親睦をはかりながらできる範囲で頑張つていただき、これからも子どもたちのために地元の皆さんの栽培したおいしくて新鮮で安心して食べられる野菜を提供していただきたいと思うと同時に期待しています。

飯山市農業委員会事務局
 飯山市役所農林課内
 電話：0269-62-3111
 (内線261)
 FAX：0269-62-6221